KENWOOD

コンパクトハイファイシステム

K-505

取扱説明書 保証書付

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

• もくじは4 ページにあります。

Made for iPod iPhone

mp3 WMA

Bluetooth®

株式会社 JVCケンウッド

JVCKENWOOD Corporation

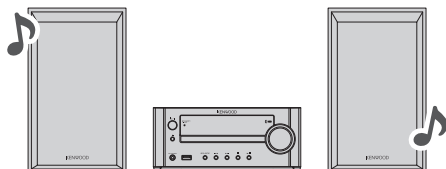
お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
https://jp.my-kenwood.com

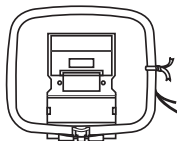
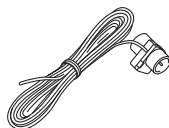
B5A-0212-10

はじめに

本機を楽しむには

音声を楽しむために準備しましょう

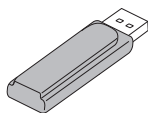
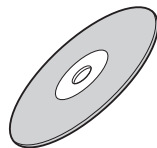
スピーカーと接続しましょう (p. 10)

ラジオを聞きたい方は、アンテナを接続しましょう

AM アンテナを組み立てて接続する (p. 11)

FM アンテナを接続する (p. 12)

お知らせ

- AM アンテナと FM アンテナは本機に付属しています。
- AM アンテナは組み立ててから、本機に接続します。

いろいろな音源を聴きましょう

iPod/iPhone（p. 16）

USB メモリー（p. 18）

CD（p. 18）

BLUETOOTH 機器（p. 24）

ラジオ（p. 28）

HDD レコーダー、テレビ、ビデオなど （p. 31）

オートパワーセーブ(節電機能)について

- 本機には、消音状態などが 15 分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ」があり、常時オンになっています。(p. 15)

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

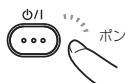
本書の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone を含みます。iPod touch、iPhone を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では MP3/WMA の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」、「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2 通りあります。

ボタンを短めに押す:

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調節して数回試してみてください。

ボタンを長めに押す:

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。

この製品の機種銘板は本体の背面にあります。

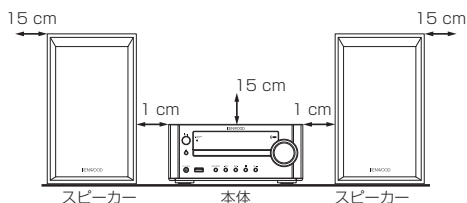
レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意:機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面

側面

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃〜35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

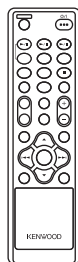
もくじ

準備する

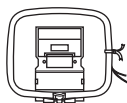
付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

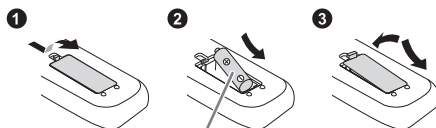
リモコン（1個）
RC-RP0504

リモコン用単3形乾電池（1本）

スピーカーコード
（1.5m、2本）

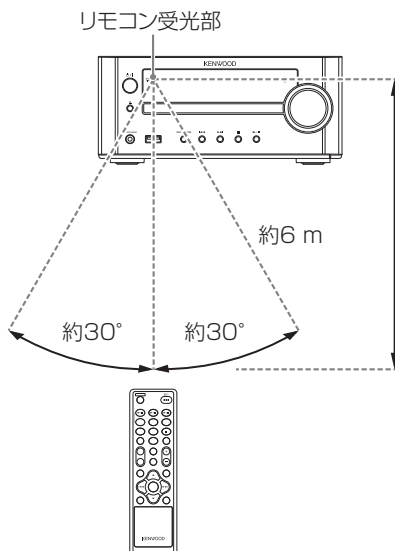
AMループアンテナ（1個）

FM簡易型アンテナ（1本）

リモコンを準備する

電池を入れる

電池の ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」（別紙）をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

操作のしかた

- リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- リモコンと本体の距離が近すぎると操作できません。
- 本体のリモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために、設置場所を変えてください。

各部の名称

リモコン

• 参照ページは主な紹介ページを記載しています。

① **USB REC**
（p. 32、33、35）

② **音源切換、▶/❚❚**
（p. 15、18、25、28、31）

③ **PAIRING**
（p. 26）

④ **DIMMER**
（p. 15）

⑤ **EX.BASS**
（p. 40）

⑥ **PLAY MODE**
（p. 17、22）

⑦ **TREBLE / BASS**
（p. 40）

⑧ **REC MODE**
（p. 34）

⑨ **CLEAR**
（p. 21、30）

⑩ **⏮ / ⏭ / ▲ / ▼ / ENTER**
（p. 17、29、36）

⑪ **SLEEP / BLUETOOTH STBY**
（p. 39）

⑫ **⏻/I（電源）**
（p. 14）

⑬ **DISPLAY**
（p. 40）

⑭ **■**
（p. 18、21、33）

⑮ **MUTING**
（p. 15）

⑯ **FOLDER**
（p. 19）

⑰ **VOL＋/－**
（p. 15）

⑱ **MEMORY / PGM**
（p. 20、29）

⑲ **CLOCK / TIMER**
（p. 14、36）

本体前面

① リモコン受光部
（p. 5）

② ⏻/I（電源）
（p. 14）

③ STANDBY/TIMER インジケーター
電源が入っているときは、消灯します。
本機の電源が切れているときに、ノーマルスタンバイの場合は赤色に点灯し、BLUETOOTH スタンバイの場合は消灯します。
タイマーを設定しているときに、電源が切れている場合は、オレンジ色に点灯します。（ノーマルスタンバイ時）

④ ⏏（CD トレイ開閉）
（p. 18）

⑤ PHONES 端子
ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

⑥ USB 端子
（p. 16、18）

⑦ SOURCE
（p. 15、16、25、28、31）

⑧ ⏮
（p. 14、17、26、28）

⑨ ⏭
（p. 14、17、26、28）

⑩ N マーク（NFC アンテナ）
（p. 24）

⑪ BLUETOOTH インジケーター
（p. 24、25）

⑫ 音量つまみ
（p. 15）

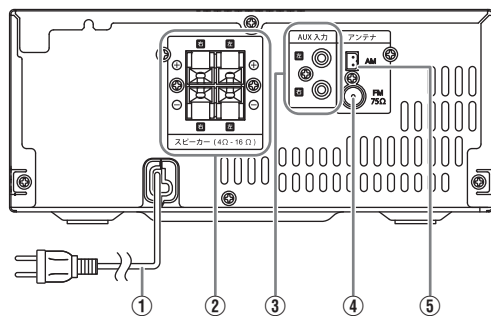
⑬ CD トレイ
（p. 18）

⑭ ▶/❚❚（再生/一時停止）
（p. 15、16、18、26）

⑮ ■（停止）
（p. 18、21、33）

お知らせ

- 電源が切れているとき（スタンバイ状態）でも、少量の電力を消費します。

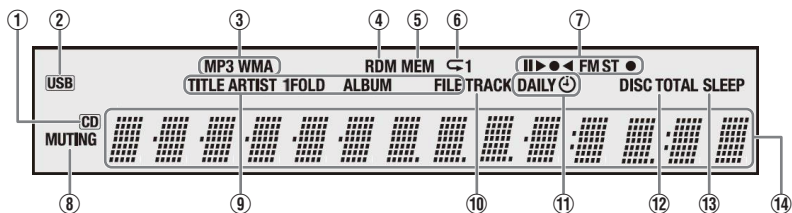
本体背面

① **電源コード**

② **スピーカー（4Ω-16Ω）端子**
（p. 10）

③ **AUX 入力端子**
（p. 13）

④ **FM 75Ω COAXIAL 端子**
（p. 12）

⑤ **AM LOOP アンテナ端子**
（p. 11）

表示部

① **CD アイコン**
（p. 18）

② **USB アイコン**
（p. 18）

③ **MP3/WMA アイコン**
（p. 18）

④ **RDM アイコン**
（p. 22）

⑤ **MEM アイコン**
（p. 20）

⑥ **リピートモードアイコン**
（p. 22）

⑦ **再生状態アイコン/ラジオ放送受信表示/BLUETOOTH 受信表示**

⑧ **MUTING アイコン**
（p. 15）

⑨ **ファイル情報**
（p. 18）

⑩ **TRACK アイコン**
トラックを表示しているときに点灯します。

⑪ **タイマーアイコン**
（p. 36、37）

⑫ **DISC TOTAL アイコン**
（p. 18）

⑬ **SLEEP アイコン**
（p. 39）

⑭ **テキスト表示**
各音源の情報を表示します。

接続する

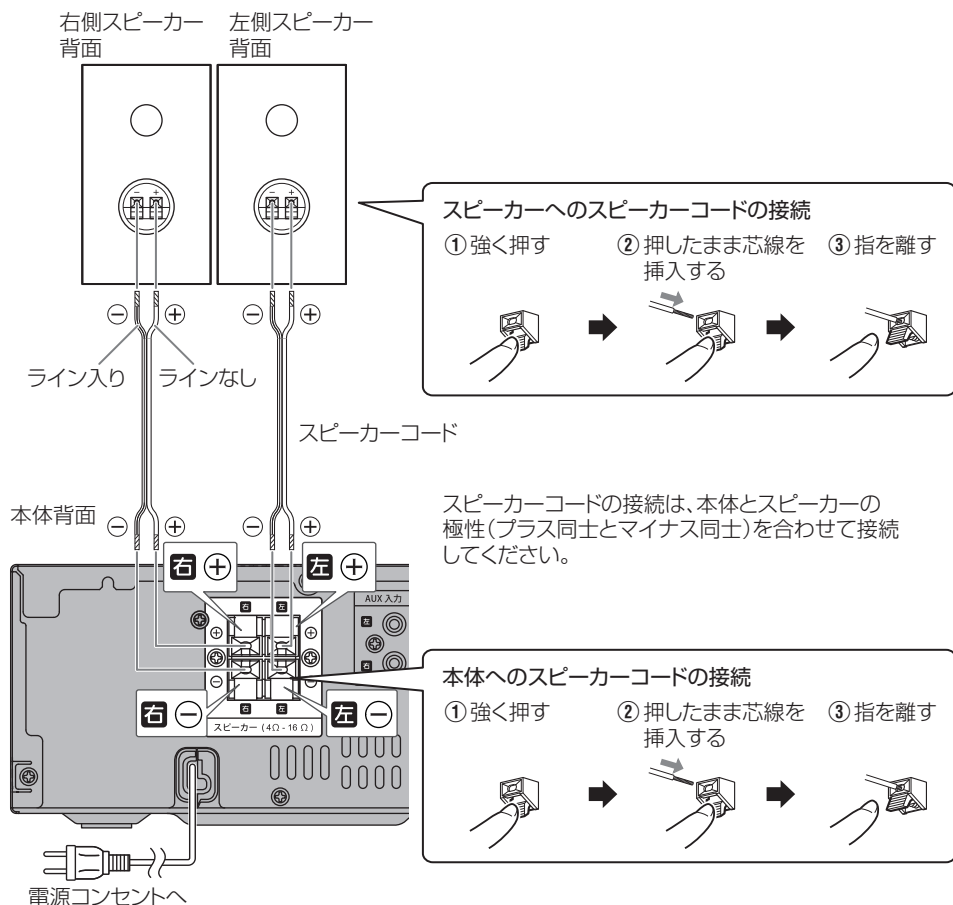
ご注意

- **すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。**
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

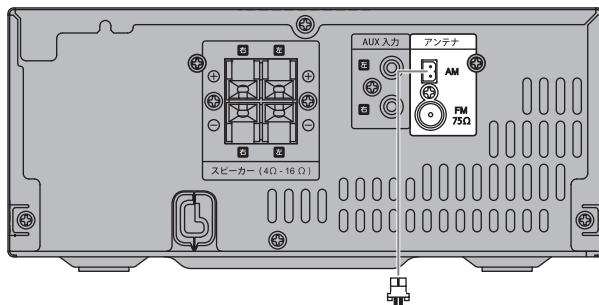
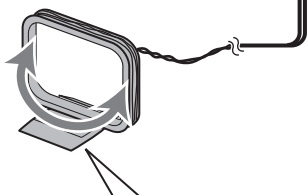
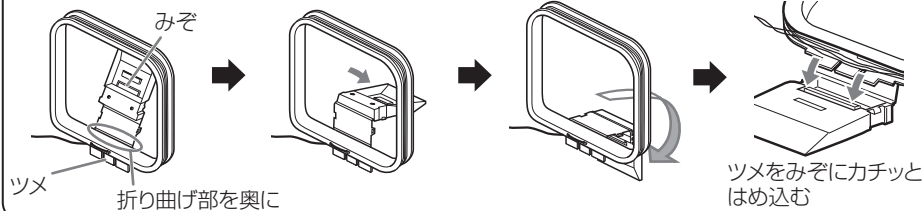
スピーカーを接続する

ご注意

- 付属のスピーカー以外は接続しないでください。
- 他のスピーカーを使用すると故障の原因となることがあります。

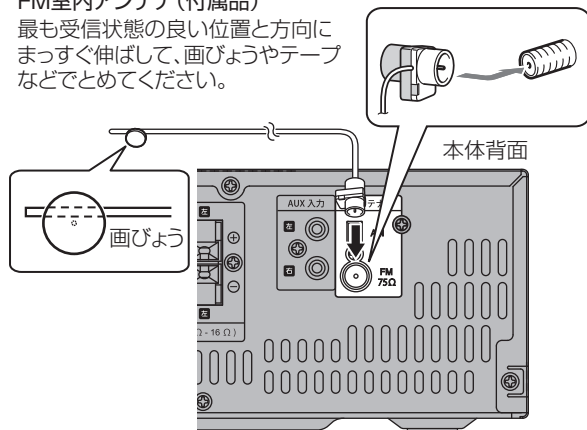
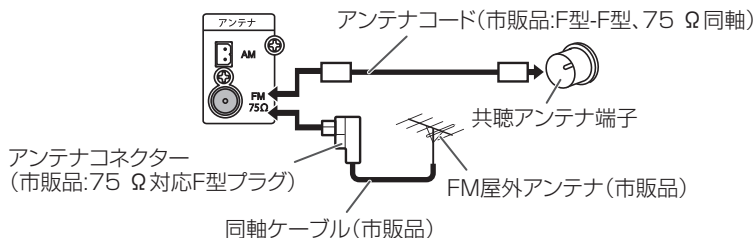
スピーカーコードの接続は、本体とスピーカーの極性（プラス同士とマイナス同士）を合わせて接続してください。

スピーカーの接続についてのご注意

- １つの端子に２つ以上のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードを強く押し込みすぎて、ビニールの被覆を端子の中に入れないようにしてください。
- スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、図のとおり正しく接続してください。

AM アンテナを接続する

AM ループアンテナについてのご注意

- ラジオを聞く前に必ずアンテナを接続してください。
- AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、受信の妨げになる場合があるため、ループアンテナは電気製品（本機を含む）や、他のケーブルから出来だけ離して設置してください。
- アンテナは、一般に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

FM アンテナを接続する

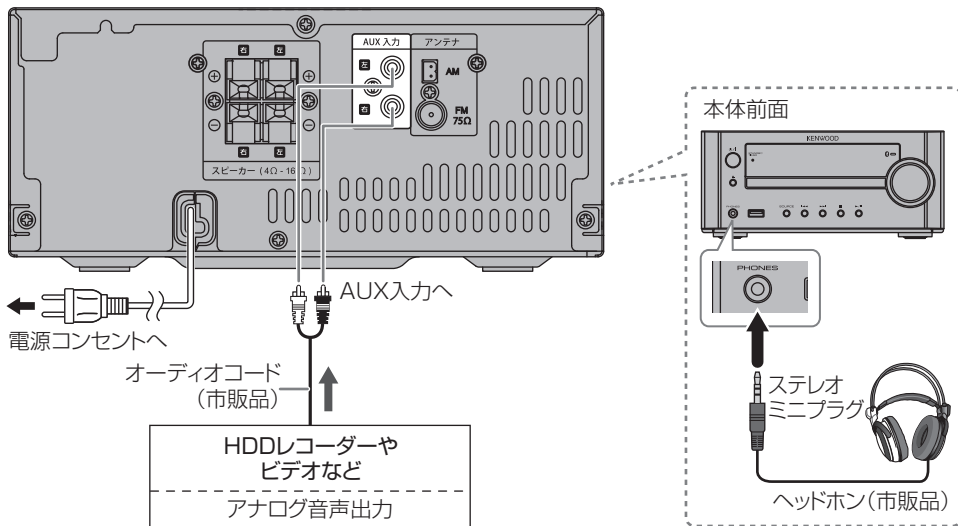
FM アンテナの接続

マンションなどの壁の共聴アンテナ端子または FM 屋外アンテナを使うとき

- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。

ご注意

- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機の FM 端子を接続している場合は、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

他の機器(市販品)を接続する

接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

本体背面

お知らせ

- お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

電源コードについてのご注意

- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

基本操作

電源を入れる／切る

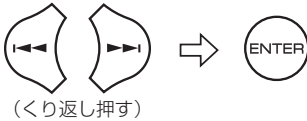
- 各音源ボタンを押して電源を入れることもできます。
- BLUETOOTH スタンバイ（p. 14）にするには、リモコンの［SLEEP/BLUETOOTH STBY］ボタンを押します。

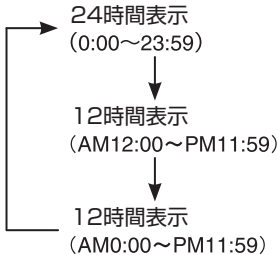
時計を合わせる

1　時計設定表示にする

Sun　0:00

時計設定表示になったら、［ENTER］ボタンを押します。

2　「曜日」を合わせる

（くり返し押す）

3　手順 2 をくり返して、24 時間表示または 12 時間表示を選びます。

4　手順 2 をくり返して、「時」を合わせる

5　手順 2 をくり返して、「分」を合わせる

お知らせ

- 本機の時計は月に 1、2 分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- 電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。

スタンバイモードを切り換える

本機では、2 種類のスタンバイモードを設定できます。

本機の電源が切れているときに

（くり返し押す）

- BLUETOOTH スタンバイモード：
STANDBY/TIMER インジケーターが消灯し、ディスプレイに「BLUETOOTH Stby」が表示されます。
本機の電源が切れているときでも、BLUETOOTH 機器と接続できます。
- ノーマルスタンバイモード：
STANDBY/TIMER インジケーターが点灯し、表示部には何も表示されません。
節電状態になります。本機の電源が切れているときは、BLUETOOTH 機器と接続できません。

ふだんの使いかた

1　ソース（音源）を選ぶ

リモコン

本体

（くり返し押す）

2　音量を調節する

Volume　7

・調節範囲: 0(Min)～31（Max)
・リモコンの[VOL＋/－]ボタンを押し続けると、連続して変わります。

一時的に消音する

・「MUTING」アイコンが点灯します。
・もう一度押すか、音量を調節すると、消音が解除されます。
・音源を切り換えると、消音が解除されます。

表示部の明るさを変える

Dimmer 1

押すたびに表示部の明るさが切り換わります。

・設定は電源を切っても記憶されます。

オートパワーセーブ（節電機能）について

以下のような状態で約15分間何も操作が行われない場合、本機の電源が自動的に切れます。
（録音中はオートパワーセーブは働きません）

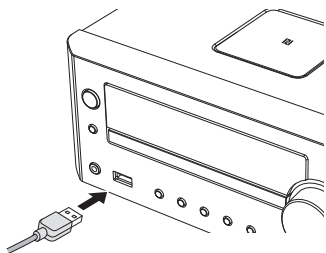
- 音量が「Min」のとき、または消音しているとき
- ソース（音源）が「USB」または「BLUETOOTH」で、機器を接続していないとき
- ソース（音源）が「USB」または「CD」で、停止状態のとき
- ソース（音源）が「AUX」で、音声が入力されていないとき

・本機の電源が切れる約30秒前に「A.P.S.」表示が点滅を始めます。
・途中でボタン操作を行なった場合は、その時点から15分間カウントし直します。
・スリープタイマー動作中はオートパワーセーブは働きません。

iPod/iPhone を聞く

iPod/iPhone を接続する

iPod を iPod 用 USB ケーブル(iPod に付属または市販品)を使用して本機の USB 端子に接続し、本機から操作できます。

- iPod は、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや iPod のファイルシステムが破損する恐れがあります。

iPod用USBケーブル
(iPodに付属またはアップル認定の市販品)

お知らせ

- 接続した iPod は、本機の電源が入っているときに充電されます。
- BLUETOOTH スタンバイ中も、接続した iPod の充電が可能です。

ご注意

- 本機から iPod に録音することはできません。

再生する

リモコン　　本体

(くり返し押す)

iPod の電源が入り、再生が始まります。

- 本体側で操作するときは、[SOURCE]ボタンを押して、「USB」を選びます。iPod の認識が終わった後に、[►/II]ボタンを押してください。iPod の再生が始まります。

一時停止する

リモコン　　本体

もう 1 度押すと、一時停止を解除します。

- [■]ボタンでは停止しません。

曲を選ぶ

リモコン

（くり返し押す）

本体

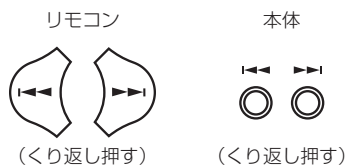
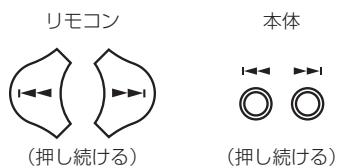
（くり返し押す）

早戻し/早送りする

再生中に

リモコン

（押し続ける）

本体

（押し続ける）

シャッフル再生をする

（押し続ける）

押し続けると、iPod のシャッフル再生モードが切り換わります。

リピート再生をする

PLAY MODE

（くり返し押す）

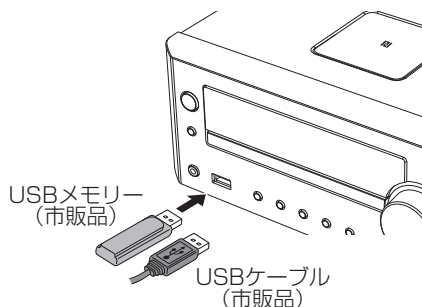
押すたびに iPod のリピート再生モードが切り換わります。

お知らせ

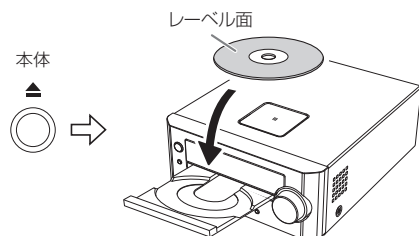
- iPod の種類により、動作が異なることがあります。
- iPod のイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- iPod の操作については、iPod の取扱説明書をご覧ください。

USB 機器/CD を聞く

USB 機器/CD を準備する

USB 機器を接続する

ご注意

- USB 機器は、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中または録音中に取りはずすと、ファイルや USB 機器のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- Android 端末には対応していません。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーの USB 再生には対応しておりません。
  BLUETOOTH または AUX 入力端子にステレオミニプラグ－ピンプラグ接続コードなどで接続して、再生してください。（p. 31）

CD を入れる

- CD トレイを閉めるには、[▲] ボタンを押します。

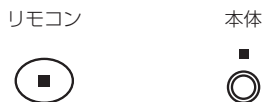
お知らせ

- 電源が切れているとき（スタンバイ状態）に [▲] ボタンを押すと、電源が入り CD トレイが開きます。

USB 機器/CD の基本操作

再生する

- USB 機器を再生するときは「USB」アイコン、CD を再生するときは「CD」アイコンが点灯します。
- CD を再生するときは、「DISC TOTAL」アイコンが表示されます。
- MP3 ファイルを再生するときは「MP3」アイコン、WMA ファイルを再生するときは「WMA」アイコンが点灯します。
- MP3/WMA ファイルを再生するときは、ファイル情報が表示されます。

停止する

- MP3/WMA ファイルは、停止後再び再生すると、再生していた曲の先頭から再生します（リジューム機能）。停止中にもう 1 度 [■] ボタン を押すと、リジューム機能は解除されます。

一時停止する

- もう 1 度押すと、一時停止を解除し再生します。

曲を選ぶ

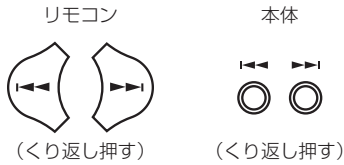
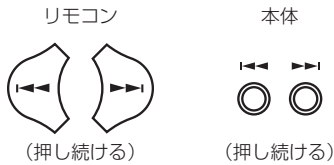
リモコン　　本体

（くり返し押す）　（くり返し押す）

早戻し/早送りする

再生中に

リモコン　　本体

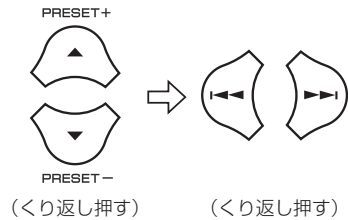
（押し続ける）　（押し続ける）

- MP3/WMA ファイルの場合は、早戻し/早送りの動作中に音が出ません。

フォルダー番号とファイル番号から曲を選ぶ（MP3/WMA ファイルのみ）

1 **フォルダー番号とファイル番号を表示する**

リモコン

- フォルダーモードに切り換わります。

2 **フォルダーとファイルを選ぶ**

（くり返し押す）　（くり返し押す）

- [▲] / [▼]ボタンでフォルダーを選んでから、[⏮] / [⏭]ボタンでファイルを選びます。

3 **再生する**

リモコン　　本体

/

プログラム再生をする

USB 機器または CD の曲を 32 曲までお好みの順で再生します。

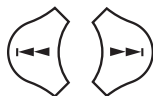
お知らせ

- プログラム再生の登録が 32 曲を超えると、「Program Full」を表示します。

1　プログラムモードを表示させる

停止中に

- 「Program」と表示され、「MEM」アイコンが点滅します。

2　曲を選ぶ

（くり返し押す）　（くり返し押す）

MP3/WMA ファイルの場合

フォルダーモードでフォルダーとファイルを選ぶ

（くり返し押す）　（くり返し押す）

- [▲] / [▼] ボタンでフォルダーを選んでから、[I◄◄] / [►►I] ボタンでファイルを選びます。

3　曲を登録する

4　手順 2～3 をくり返して、他の曲を登録する

5　再生する

- プログラムした順序で曲が再生されます。
- 設定中は「MEM」アイコンが点滅、再生中は「MEM」アイコンが点灯します。

プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に

（くり返し押す）

登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

1 **プログラム内容の確認モードを表示させる**

プログラム再生停止中に

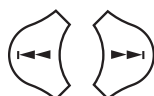
- 「MEM」アイコンが点滅します。

2 **プログラム追加モードを表示させる**

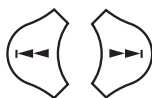
（押し続ける）

- プログラムした曲数の次の番号が表示されます（5 曲プログラムした場合は、6 曲目の登録画面が表示されます）。

3 **曲を選ぶ**

リモコン　　本体

（くり返し押す）　（くり返し押す）

MP3/WMA **ファイルの場合**

フォルダーモードでフォルダーとファイルを選ぶ

（くり返し押す）　（くり返し押す）

- ［▲］/［▼］ボタンでフォルダーを選んでから、［|◀◀］/［▶▶|］ボタンでファイルを選びます。

4 **曲を登録する**

- プログラムの最後に曲が追加されます。

登録した曲を削除する

プログラム内容確認中に

表示中の曲が取り消されます。（1 曲削除）

- 途中の曲を取り消したい場合は、［MEMORY/PGM］ボタンをくり返し押して取り消したい曲の番号を表示させ、［CLEAR］ボタンを押します。
- 全曲削除したい場合は、次の「プログラム再生を解除する」をご覧ください。

プログラム再生を解除する

プログラム再生停止中に

リモコン　　本体

「Program Clear」が表示され、全てのプログラムの内容が消去されます。

- 以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。
  - 電源を切る
  - ソース（音源）を変える
  - USB 機器を取りはずす
  - CD トレイを開ける（音源が CD のとき）

ランダム再生をする

再生中または停止中に

「Random」を選ぶ

（くり返し押す）

- ランダムモードが設定されると「RDM」アイコンが点灯します。
- フォルダーモードのときは、フォルダー内ランダムになります。
- ランダム再生中に[⏮]ボタンを押しても、前の曲に戻ることはできません。
- プログラム再生中はランダム再生はできません。

お知らせ

- 本機がランダム再生を行うのは USB 機器 1 台あたりで最大 1023 ファイルです。最大ファイル数を超えたファイルはランダム再生されません。

ランダム再生を解除する

再生中または停止中に

「Normal」を選ぶ

（くり返し押す）

- 以下の場合もランダム再生は解除されます。
  - 電源を切る
  - ソース（音源）を変える
  - USB 機器を取りはずす
  - CD トレイを開ける（音源が CD のとき）

リピート再生をする

1　リピートの種類を選ぶ

再生中または停止中に

（くり返し押す）

Repeat One	：現在の曲をくり返します。設定中は「⟲1」アイコンが点灯します
Repeat Folder*	：現在のフォルダーの曲をくり返します。設定中は「⟲」アイコンと「1FOLD」アイコンが点灯します
Repeat All	：USB 機器または CD のすべての曲をくり返します。設定中は「⟲」アイコンが点灯します
Normal	：リピート再生を解除します。

*フォルダーモード選択時のみ

2　（停止中のときは）再生する

リモコン　　　本体

お知らせ

- プログラム再生中に「Program Repeat」にすると、プログラムをリピート再生します。

リピート再生を解除する

再生中または停止中に

「Normal」を選ぶ

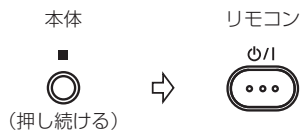
（くり返し押す）

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。
  - 電源を切る
  - ソース（音源）を変える
  - USB 機器を取りはずす
  - CD トレイを開ける（音源が CD のとき）

CD トレイをロックする

本機に入れたディスクを取り出せないようにロックすることができます。

トレイロックを設定する

電源が入った状態で、本体の[■]ボタンを押したまま、リモコンの[⏻/I]ボタンを押します。

・「Locked」と表示されます。

トレイロックを解除する

設定時と同じ操作をしてください。

・「Unlocked」と表示されます。

BLUETOOTH 機器を聞く

お手持ちのスマートフォンなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機を登録（ペアリング）する必要があります。

NFC を使って BLUETOOTH 機器を接続する

お使いの BLUETOOTH 機器が NFC に対応している場合は、本機にタッチするだけで、かんたんに BLUETOOTH 接続ができます。

お使いの BLUETOOTH 機器が NFC に対応していない場合は、手動で BLUETOOTH 接続をしてください。（p. 25）

お知らせ

- Android 機器では、NFC 対応のほか OS が Android 4.1 以降である必要があります。お使いの機器をご確認ください。
- iOS 機器（iPhone/iPad/iPod touch）には NFC はありません（2014 年 7 月現在）

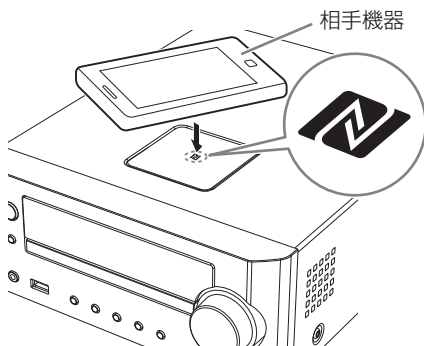
NFC とは、近距離無線通信を行う技術です。この機能を搭載したスマートフォンやタブレットなどで NFC 搭載機器のアンテナ部にタッチするだけで、かんたんにデータ通信ができます。

NFC でペアリング（接続）する

本機と BLUETOOTH 機器（以下、相手機器）を接続するときは、電源オンあるいは BLUETOOTH スタンバイの状態からペアリングしてください。

1　相手機器の電源を入れ、NFC を有効にする

2　相手機器の NFC アンテナ部分を本機の N マークにタッチする

- 近づけるだけでは作動しません。マークにタッチしてください。
- スマートフォンの画面に「BLUETOOTH 接続しますか？」などの表示が出た場合は、「はい」をタップしてください。

本機と相手機器がペアリング（接続）されます。

接続されると、BLUETOOTH インジケーター（青）と「▶●◀」アイコンが点灯します。

お知らせ

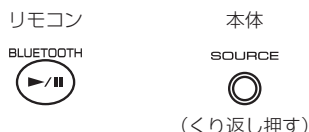
- ペアリングが完了したら、相手機器を本機から離してください。相手機器で本機にタッチしたままにすると、接続が切れるなど不安定な状態になります。
- NFC でタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器（スマートフォンなど）側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。
- ペアリングできないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。それでも接続できないときは、手動で接続してください。（p. 25）

手動で BLUETOOTH 機器を接続する

1 ソース(音源)を「BLUETOOTH」にする

リモコン　　本体

BLUETOOTH ►/II　　SOURCE

（くり返し押す）

BLUETOOTH

2 BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)の電源を入れ、ペアリングできる状態にする。

（例）

Android **機器(スマートフォンなど)の場合**

「設定」➡「無線とネットワーク」の順にタップする

「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする

続いて、「Bluetooth 設定」➡「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

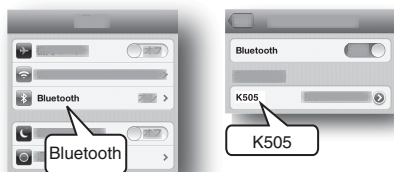
iOS **機器(**iPhone/iPad/iPod touch**)の場合**

以下のいずれかの手順を参考にしてください。

「設定」➡「Bluetooth」の順にタップする
または、
「設定」➡「一般」➡「Bluetooth」の順にタップする

上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

- 詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

3 画面に表示された機器から「K505」を選ぶ

ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。

- BLUETOOTH インジケーター(青)と「▶●◀」アイコンが点灯します。
- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

4 相手機器を再生する

リモコン　　本体

- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

お知らせ

- 音源を、BLUETOOTH に切り換えると、本機と最後に接続した BLUETOOTH 機器と再接続します。
- ペアリングできないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。

BLUETOOTH 機器の基本操作

再生する

リモコン　本体

BLUETOOTH ►/❚❚　►/❚❚

一時停止する

リモコン　本体

BLUETOOTH ►/❚❚　►/❚❚

- もう 1 度押すと、一時停止を解除し再生します。

曲を選ぶ

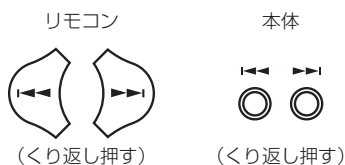
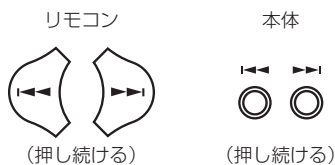
リモコン　本体

（くり返し押す）　（くり返し押す）

早戻し/早送りする

再生中に

リモコン　本体

（押し続ける）　（押し続ける）

- 通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

接続を解除する

NFC で解除する場合

現在接続している相手機器の NFC アンテナ部分を本機の N マークにタッチします。

手動で解除する場合

相手機器の BLUETOOTH 接続をオフにします。

お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- 本機または BLUETOOTH 機器の電源を「切」にしたとき
- 他の音源に切り換えたとき

他の BLUETOOTH 機器を接続する

（押し続ける）

- ディスプレイに「Disconnected」が表示されます。
- 「▶●◀」アイコンが消えると、ペアリング待機状態になります。他の BLUETOOTH 機器を接続してください。

ご注意

- 本機に接続できる機器は、BLUETOOTH バージョン 2.1+EDR、BLUETOOTH プロファイルの A2DP と AVRCP に対応している必要があります。
- BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- BLUETOOTH 機器によっては、操作（再生、一時停止、早戻し/早送り）ができない場合があります。
- 本機に iPhone を接続した場合、iPhone で音量を操作すると本機の音量も変わります。また、本機で音量を操作しても iPhone の音量が変わります。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

  –分解/改造すること

  –本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業･科学･医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

2.4 ： 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH ： FH-SS 変調方式を表します。
1 ： 電波与干渉距離は 10 mです。
□□□ ： 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

ラジオを聞く

ラジオを聞く前にアンテナを接続してください。（p. 11、12）

放送局を受信する

受信方法は、オートとマニュアルの 2 種類があります。

1 「FM」または「AM」を選ぶ

リモコン　　本体

TUNER　　SOURCE

（くり返し押す）　（くり返し押す）

FM ST（FM ステレオ受信）→ FM（FM モノラル受信）→ AM の順に切り換わります。

2 放送局を選ぶ

オートで選ぶ場合

リモコン　　本体

（約 2 秒間押し続ける）（約 2 秒間押し続ける）

長押しすると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。

- 選局を途中で停止したいときは、もう 1 度押します。

マニュアルで選ぶ場合

リモコンの[⏮] / [⏭] ボタンをくり返し押します。

- 受信すると「▶●◀」アイコンが点灯します。ステレオ信号を受信すると「**ST** ●」アイコンが点灯します。
- くり返し押すと、FM では 0.1 MHz ずつ、AM では 9 kHz ずつ受信周波数が変わります。

FM ステレオ放送が聞きにくいときは、モノラル受信にすると聞きやすくなります。

お知らせ

- モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。

アンテナを調整する

受信状態が良くないときは、放送を聞いて確認しながら、付属の室内アンテナを調整してください。

ご注意

- 集合住宅など鉄筋構造の住居では、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、付属の室内アンテナを窓際に近づけてください。
- 付属の FM 室内アンテナで放送を良好に受信できない場合は、市販の室外用の FM アンテナの設置をお勧めします。
- AM 放送の受信の妨げになる場合があるため、ループアンテナは電気製品（本機を含む）や、他のケーブルから出来だけ離して設置してください。

AM アンテナを調整する

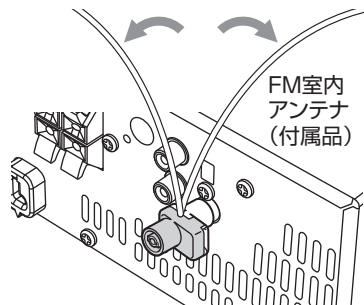
付属の AM ループアンテナを左右に回して、最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

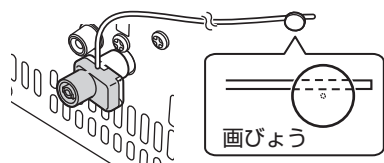
AMループアンテナ（付属品）

FM アンテナを調整する

付属の FM 室内アンテナを調整し、固定します。

1　FM 放送を聞きながら、FM アンテナの位置を調整する

高さや方向を変えて、最も受信状態の良い位置を見つけます。

2　画びょうやテープなどで、アンテナの先を軽くはさんでとめる

FM室内アンテナ(付属品)

ご注意

- 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないようにご注意ください。
- 付属の FM 室内アンテナが結ばれている場合は、ほどいてまっすぐに伸ばしてください。

放送局を記憶させる(プリセット)

FM および AM の放送局を、あわせて最大 40 局まで記憶させることができます。

1　記憶させたい放送局を受信する

2　プリセット番号を表示する

FM　87.6MHz　1

- 「MEM」アイコンとプリセット番号が点滅します。点滅している間に、以下の手順を行なってください。

3　記憶させたいプリセット番号を選ぶ

(くり返し押す)

4　記憶させる

記憶した放送局を呼び出す

記憶した放送局を自動で検索する

記憶された放送局は、自動で検索することができます。（プリセットメモリースキャン）

1 **放送局を検索する**

（押し続ける）

- プリセット番号が点滅し、記憶された放送局が順番に切り換わります。

2 **お好みの放送局が受信されたら、もう一度[▲] / [▼]ボタンを押す**

お知らせ

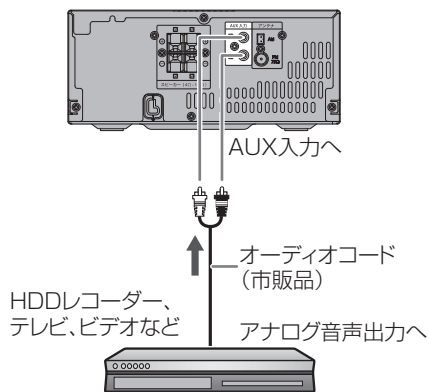
- プリセット番号を消去するには、音源を TUNER にして［CLEAR］ボタンを押し続けると、全てのプリセット番号が消去されます。

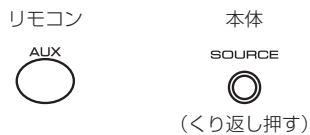
外部機器を聞く

外部機器を接続する

・ お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

1 **本機の音量を最小にする**

2 **AUX 入力端子に外部機器を接続する**

外部機器を聞く

1 **AUX を選ぶ**

2 **外部機器の再生を始める**

3 **音量を調節する**

USB メモリーに録音する

CD を録音する

あなたがラジオ放送や CD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ご注意

- 2GB 以下の USB メモリー(FAT16)では正常にご使用いただけません。4GB 以上(FAT32)のものをご利用ください。
- 録音する前に、空き容量が十分にある USB メモリーを USB 端子に接続してください。(p. 18)
- 別の機器で使用した USB メモリーは、パソコンでファイルシステムを「FAT32」形式でフォーマットしてからお使いください。
- お使いの USB メモリーによっては、録音中に本機から再生される音声が途切れることがあります。
- BLUETOOTH 機器から録音することはできません。
- MP3/WMA ファイルを記録した CD-R など、音楽 CD 以外のディスクから録音することはできません。
- 録音中に本機に衝撃を与えたり、揺らしたりしないでください。録音が正常に行われない可能性があります。
- スリープタイマー動作中に録音を開始した場合は、スリープタイマーが解除されます。
- 「CD Reading」中は録音を開始できません。「CD Reading」が完了するのをお待ち下さい。

お知らせ

- 音楽を聞きながらの等速録音です。
- 本機では、ファイル(曲)の削除、分割、名称変更、タグ(TAG)情報の変更などはできません。パソコンなどをご利用ください。
- 録音中に本機の音量や音質を変えても、録音される音声には影響ありません。
- 録音時、CD のランダム再生やリピート再生はできません。
- SD カードリーダーを使用しての録音は対応しておりません。

録音できる時間の目安

容量	128kbps	192kbps
4GB	約 67 時間	約 45 時間
8GB	約 135 時間	約 90 時間
16GB	約 270 時間	約 180 時間

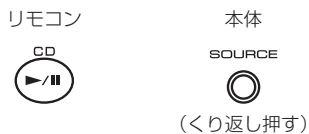
音楽 CD を全曲録音する

1　ソース(音源)を「CD」にして再生を停止する

リモコン　　本体

CD ►/❚❚　　SOURCE

(くり返し押す)

■

2　録音する

- CD が再生されると同時に録音が始まります。
- 全曲再生後に CD と USB は停止します。
- 途中で録音を停止したいときは[■]ボタンを押します。

お知らせ

- 曲ごとにファイルができます。

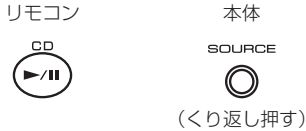
音楽 CD から 1 曲録音する

1 曲だけ選んで録音することもできます。

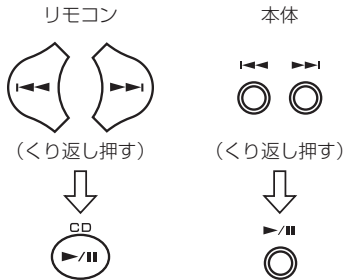
1 **ソース（音源）を「CD」にする**

リモコン　　本体

SOURCE

（くり返し押す）

2 **録音をしたい曲を選び、再生または停止にする**

リモコン　　本体

（くり返し押す）　（くり返し押す）

3 **録音する**

その曲の最初から録音が始まります。

- 途中で録音を停止したいときは [■] ボタンを押します。

ラジオ/外部機器を録音する

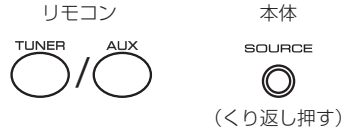
ラジオ放送や外部機器の音を USB メモリーに録音することができます。

- 録音中に音量を変更しても録音に影響はありません。

録音する

1 **録音したいソース（音源）を選ぶ**

リモコン　　本体

（くり返し押す）

2 **録音一時停止状態にする**

- 「●❚❚ ソース名」が点滅してから、点灯します。点滅時間は USB メモリーによって異なります。点灯状態になってから、操作手順 3 に進んでください。

3 **録音を始めたいところで、録音を開始する**

- 外部機器から録音する場合は、外部機器の再生を始めてください。

4 **録音を停止する**

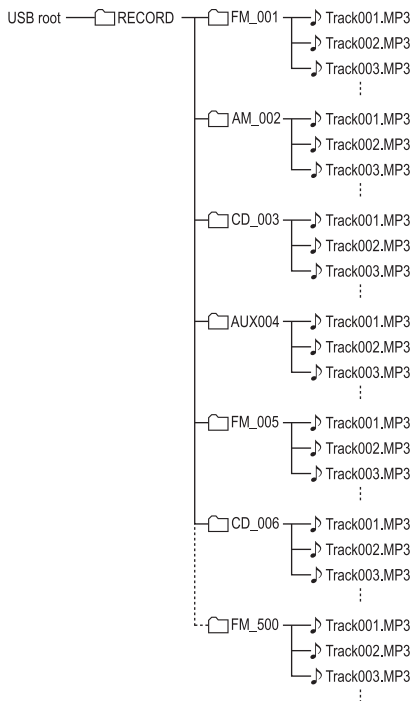
リモコン　　本体

ご注意

- 録音ファイルが 2GB（約 22 時間:192kbps の場合）に達すると、自動的に録音が区切られます。
- 曲が区切られるとき、約 2 秒間音が途切れます。

録音ファイルの保存場所

本機で録音した曲は、ビットレートが 128kbps または 192kbps の MP3 ファイルとして保存されます。

USB メモリーに「RECORD」フォルダーが自動的に生成され、その中に以下のように MP3 ファイルが作成されます。

ご注意

- ファイルは、ソース(音源)ごとにフォルダーにまとめられます。
- ファイルとフォルダーには、自動的に通し番号が付けられます。通し番号を指定することはできません。
- フォルダー名には、ソース(音源)の区別なく、通し番号が付けられます。
- FM ステレオ放送と FM モノラル放送の区別なく、FM_✱✱✱(✱ は通し番号)フォルダーに保存されます。
- 録音で生成されるフォルダーの最大数は 500 です。
- 1 フォルダーに保存できるファイルの最大数は 998 です。
- フォルダーが 1 つしかない場合でも、フォルダーの通し番号が 500 に達している場合は、フォルダー数が最大と認識されます。

録音モードを設定する

録音音質を設定する

1 **「CD」、「TUTNER」、「AUX」から設定したいソース(音源)を選び、[REC MODE] ボタンを押す**

ディスプレイに「Bit Rate」が表示されます。

2 **[ENTER] ボタンを押す**

3 **[⏮] / [⏭] ボタンを押し、128kbps と 192kbps を切り換え、希望の数字を表示させたら [ENTER] ボタンを押して決定する。**

お知らせ

- 「CD」で録音音質を設定するときは再生を停止してください。

外部機器の録音音量を設定する

1 **[AUX] ボタンを押して音源を選び、[REC MODE] ボタンを押す**

「Rec Level」が表示されるまで、くり返し押します。

2 **[ENTER] ボタンを押す**

3 **[⏮] / [⏭] ボタンを押し、お好みの音量を選び [ENTER] ボタンを押して決定する**

- Rec Level 選択範囲:-9〜+9

録音ファイルを自動分割する

ラジオや外部機器の録音中に、録音ファイルを 15 分または 30 分ごとに自動分割できます。

1 **[TUNER] ボタンまたは [AUX] ボタンを押して音源を選び、[REC MODE] ボタンを押す**

「Time Mark」が表示されるまで、くり返し押します。

2 **[ENTER] ボタンを押す**

3 **[⏮] / [⏭] ボタンを押し、希望の分数を選択し、[ENTER] ボタンを押して決定します。**

- 曲が区切られるとき、約 2 秒間音が途切れます。

録音ファイルを手動分割する

ラジオや外部機器の録音中に、録音ファイルをお好みの場所や長さで分割できます。

1 **ラジオや外部機器の録音中に、[USB REC] ボタンを押す**

「New file」と表示され、録音は手動で分割されます。

- 手動分割では、5 秒以下で分割することはできません。一度分割したら 5 秒お待ち下さい。

お知らせ

- 音源が「CD」のときは「Rec Level」と「Time Mark」は表示されません。
- 設定は電源を切っても記憶されます。
- 外部機器の録音ファイルの音量が小さすぎたり大きすぎて割れたりしたときは、外部機器の録音音量を調整してください。

タイマーを使う

再生タイマーを設定する

本機はあらかじめ設定した時刻に電源が入り、お好みの音源(「TUNER」、「CD」、「USB」、「AUX」)を再生します。

本機には 2 種類の再生タイマー機能があります。

Once(1 回)タイマー

あらかじめ設定した時刻に 1 度のみ、お好みの音源を再生します。(「⏻」アイコン表示)

Daily(デイリー)タイマー

あらかじめ設定した曜日の同じ時刻にお好みの音源を再生します。例えば、毎朝の目覚まし時計としてタイマーを設定します。(「DAILY」アイコン表示)

タイマーを設定する前に

- あらかじめ電源を入れておいてください。
- あらかじめ時計を合わせておいてください。(p. 14)
- あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。

1 [CLOCK/TIMER]ボタンを押し続ける

(押し続ける)

タイマー設定を開始します。

2 [⏮] / [⏭]ボタンで「Once」または「Daily」を選び、[ENTER]ボタンを押す

3 [⏮] / [⏭]ボタンで「Timer Set」を選び、[ENTER]ボタンを押す

4 [⏮] / [⏭]ボタンで「Play」を選び、[ENTER]ボタンを押す

5 [⏮] / [⏭]ボタンで音源(「TUNER」,「CD」,「USB」,「AUX」)を選び、[ENTER]ボタンを押す

「TUNER」を選択したときは、[⏮] / [⏭]ボタンでプリセット番号(放送局)を決定してください。

- 放送局が無い場合は、「No Preset」が表示され、タイマー設定を解除します。

6 曜日を設定する

[⏮] / [⏭]ボタンで曜日を選択し、[ENTER]ボタンを押します。

- 「Once」を選択した場合、曜日を選択します。
- 「Daily」を選択した場合、開始の曜日と終了の曜日を選択します。
  (例) 月曜日から金曜日を設定する場合は、「Mon-Fri」 にします。

7 時間を設定する

手順 6 と同様の操作で、開始時刻と終了時刻を設定します。

8 音量を調整する

手順 6 と同様の操作で、音量を設定します。

音量まで設定が終わると、設定した内容がディスプレイに表示されます。

9 電源を切る

- 再生タイマーの開始時刻になると自動的に電源が入り、再生が始まります。
- 再生タイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- 再生タイマーが設定されていて BLUETOOTH スタンバイのとき、「Daily」では「DAILY」アイコンが、「Once」では「⏻」アイコンが点灯します。ノーマルスタンバイのときは、STANDBY/TIMER インジケーターがオレンジ色に点灯します。
- 再生タイマーの作動中、「Daily」の時は、「DAILY」アイコン、「Once」の時は「⏻」アイコンが点滅します。
- 再生タイマーは、「Once」のときは設定した曜日に 1 度だけ、「Daily」のときは設定した曜日に作動します。
- 開始時刻と終了時刻に同じ時刻を設定することはできません。

お知らせ

- 再生タイマーの動作中もオートパワーセーブ(p. 15)は有効です。
- タイマー動作中は、スリープタイマー、時計、タイマー設定が無効になります。スリープタイマー、時計、タイマー設定を変更したい場合は、タイマー動作を中止するために電源を切り、もう一度電源を入れて設定してください。
  「スリープタイマーを設定する」(p. 39)

ご注意

- 「Once」タイマーと「Daily」タイマーを一緒に使用するときは、タイマーの終了時間と開始時間の間隔を 2 分以上あけて設定してください。

録音タイマーを設定する

ラジオ放送をタイマー録音できます。

- 本機には 2 種類の録音タイマー機能があります。

Once(1 回)タイマー

あらかじめ設定した時刻に 1 度のみ、お好みのラジオ番組を録音します。(「⏻」アイコン表示)

Daily(デイリー)タイマー

あらかじめ設定した曜日の同じ時刻にお好みのラジオ番組を録音します。(「DAILY」アイコン表示)

タイマーを設定する前に

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(p. 14)

1　[CLOCK/TIMER]ボタンを押し続ける

(押し続ける)

タイマー設定を開始します。

2　[⏮] / [⏭]ボタンで「Once」または「Daily」を選び、[ENTER]ボタンを押す

3　[⏮] / [⏭]ボタンで「Timer Set」を選び、[ENTER]ボタンを押す

4　[⏮] / [⏭]ボタンで「Rec」を選び、[ENTER]ボタンを押す

5　ディスプレイに「TUNER」が表示されたら[ENTER]ボタンを押す

6　プリセット番号(放送局)を選び、[ENTER]ボタンを押す

[⏮] / [⏭]ボタンでプリセット番号(放送局)を決定してください。

- 放送局が無い場合は、「No Preset」が表示され、タイマー設定を解除します。

7　曜日を設定する

[⏮] / [⏭]ボタンで曜日を選択し、[ENTER]ボタンを押します。

- 「Once」を選択した場合、曜日を選択します。
- 「Daily」を選択した場合、開始の曜日と終了の曜日を選択します。
  (例) 月曜日から金曜日を設定する場合は、「Mon-Fri」にします。

8　時間を設定する

手順 6 と同様の操作で、開始時刻と終了時刻を設定します。

9　音量を調整する

手順 6 と同様の操作で、音量を設定します。

音量まで設定が終わると、設定した内容がディスプレイに表示されます。

10　電源を切る

- 録音タイマーの開始時刻約 1 分前になると自動的に電源が入り、録音が始まります。
- 録音タイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- 録音タイマーが設定されていて BLUETOOTH スタンバイのとき、「Daily」では「DAILY」アイコンが、「Once」では「⏻」アイコンが点灯します。ノーマルスタンバイのときは、STANDBY/TIMER インジケーターがオレンジ色に点灯します。
- 録音タイマーの作動中は、「Daily」の時は、DAILY アイコンが、「Once」の時は、「⏻」アイコンが点滅します。
- 録音タイマーは、「Once」のときは設定した曜日に 1 度だけ、「Daily」なら設定した曜日に動作します。
- 開始時刻と終了時刻に同じ時刻を設定することはできません。

お知らせ

- タイマー動作中は、スリープタイマー、時計、タイマー設定が無効になります。スリープタイマー、時計、タイマー設定を変更したい場合は、タイマー動作を中止するために電源を切り、もう一度電源を入れて設定してください。
  「スリープタイマーを設定する」(p. 39)

ご注意

- 「Once」タイマーと「Daily」タイマーを一緒に使用するときは、タイマーの終了時間と開始時間の間隔を 2 分以上あけて設定してください。

タイマーの共通設定について

再生･録音タイマーは、設定した内容の確認や解除、再設定などもできます。操作方法は、再生･録音タイマー共通です。

タイマー設定を確認する

1 **［CLOCK/TIMER］ボタンを押し続ける**

（押し続ける）

2 **［|◀◀］/［▶▶|］ボタンで「Once」または「Daily」を選び、［ENTER］ボタンを押す**

3 **［|◀◀］/［▶▶|］ボタンで「Timer Call」を選び、［ENTER］ボタンを押す**

設定内容が表示されます。

タイマーを解除する

1 **［CLOCK/TIMER］ボタンを押し続ける**

（押し続ける）

2 **［|◀◀］/［▶▶|］ボタンで「Once」または「Daily」を選び、［ENTER］ボタンを押す**

3 **［|◀◀］/［▶▶|］ボタンで「Timer Off」を選び、［ENTER］ボタンを押す**

設定が解除されます。

- 「Daily」の設定は、解除されるまで継続します。使用しないときには、設定を解除してください。
- 「Once」の設定は、1 度タイマー動作が終わると、タイマーは解除されます。

1 度設定したタイマーを、内容を変えずに再設定する

1 **［CLOCK/TIMER］ボタンを押し続ける**

（押し続ける）

2 **［|◀◀］/［▶▶|］ボタンで「Once」または「Daily」を選び、［ENTER］ボタンを押す**

3 **［|◀◀］/［▶▶|］ボタンで「Timer On」を選び、［ENTER］ボタンを押す**

設定内容が表示されます。

スリープタイマーを設定する

スリープタイマーを設定する

（くり返し押す）

SLEEP
Sleep 10

押すたびに電源が切れるまでの時間（単位：分）が次のように切り換わります。

Sleep 10 ➡ Sleep 20 ➡ Sleep 30 ➡ Sleep 60 ➡ Sleep 90 ➡ Sleep 120 ➡ Sleep Off ➡（最初に戻る）

- スリープタイマーが設定されているときは、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- スリープタイマーを解除するときは、「Off」を選んでください。

お知らせ

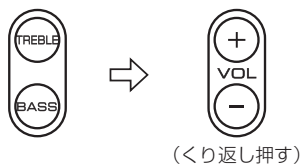
- スリープタイマーの動作中はオートパワーセーブ（p. 15）は無効です。

残り時間を確認する

残り時間を 5 秒間表示します。

音質や表示の設定を変える

お好みの音質に設定する

（くり返し押す）

TREBLE（高音）：［TREBLE］ボタンを押してから
［VOL＋/－］ボタンで調整する
BASS（低音）　：［BASS］ボタンを押してから
［VOL＋/－］ボタンで調整する

- 調整範囲：－5～＋ 5

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- 録音音質に影響はありません。

重低音を強める

（くり返し押す）

押すたびに「EX.BASS On」と「EX.BASS Off」に切り換わります。（初期設定は「EX.BASS Off」です）。

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- 録音音質に影響はありません。

表示される情報を変える

（くり返し押す）

押すたびに各種の情報表示に切り換わります。

- ソース（音源）によって、表示される情報は異なります。
- MP3/WMA ファイルの再生中は、表示部にタグ情報が表示されます。
- 「iPod」では曲名、アーティスト名、アルバム名を切り換えることができます。

その他

再生できる iPod

Made for	バージョン＊
iPod nano（第 7 世代）	1.0.3
iPod nano（第 6 世代）	1.2
iPod nano（第 5 世代）	1.0.2
iPod nano（第 4 世代）	1.0.4
iPod nano（第 3 世代）	1.1.3
iPod touch（第 5 世代）	7.0.6
iPod touch（第 4 世代）	6.1.6
iPod touch（第 3 世代）	5.1.1
iPod touch（第 2 世代）	4.2.1
iPhone 5s	7.1.2
iPhone 5c	7.0.6
iPhone 5	7.1.2
iPhone 4s	7.1.2
iPhone 4	7.0.6
iPhone 3GS	6.1.3
iPhone 3G	4.2.1

＊動作確認時のソフトウェアのバージョン

- iPod/iPhone が正しく再生されないときは、iPod/iPhone をリセットしてみてください。（リセット方法は、アップル社のウェブサイトをご覧ください。）
- iPod/iPhone について詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/jp/>
- iPod/iPhone の最新の対応状況については、弊社ホームページをご覧ください。

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH Ver. 2.1+EDR に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。
- すべての BLUETOOTH 機器再生を保証するものではありません。

再生できる CD とファイル

- CD 規格（CD-DA）に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。
  CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。 COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc Recordable　COMPACT disc ReWritable
ファイル	• 音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW • CD-R/CD-RW の MP3/WMA ファイル

USB 機器のご注意

- 再生できる USB 機器のファイルは、MP3/WMA ファイルです。
- USB 端子には、iPod、iPhone、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。
- USB 機器の容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります
- 本機で録音に使用できる USB メモリーはファイルシステム「FAT32」、容量 4GB 以上です。それ以外の USB メモリーや、お使いの USB メモリーによっては、録音中の再生音が途切れる場合があります。
- USB 機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- 本機の USB 端子は、パソコンとは接続できません。
- 接続する機器によっては誤動作する場合があります。このときは、本機の電源を 1 度切ってから入れ直してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- USB 機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- USB 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB 機器によっては、本機が認識できないことがあります。
- USB 機器に再生可能なファイルがない場合は、再生は開始されません。
- 本機では、ファイルやフォルダーを削除することはできません。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーは、AUX 入力端子に接続して再生してください。（p. 31）
- 本機の電源が入っているときは、USB 機器に電源供給および充電されます。
- USB 機器の取扱説明書もご覧ください。

CD-R/CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- レーベル面に印刷可能な CD-R/CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。
- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式（UDF フォーマット）は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3/WMA ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。（フォルダーやファイルの構成により読み取り時間は異なります。）

MP3/WMA ファイルのご注意

- 再生できる MP3/WMA ファイルは<.mp3> または<.wma>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成された MP3/WMA ファイルを再生できます。

サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz
転送レート	MP3:　32kbps〜320kbps WMA:　64kbps〜160kbps

- 本機は USB 機器 1 台あたり最大 999 のフォルダーおよび 60,000 のファイルを認識します。
- 本機は CD1 枚あたり最大 99 のフォルダーおよび 500 のファイルを認識します。1 フォルダー内の最大ファイル数は 99 です。
- DRM ファイルは「Not Supported」と表示してスキップします。
- VBR ファイルの早送り、早戻しには対応していません。また、正しく再生できない場合があります。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3/WMA ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- 最大フォルダー数、最大ファイル数、1 フォルダー内の最大ファイル数を超えたディスクでは認識できない場合があります。
- MP3/WMA ファイルの再生順について

  （MP3/WMA ファイルを含まないフォルダーは無視されます。）

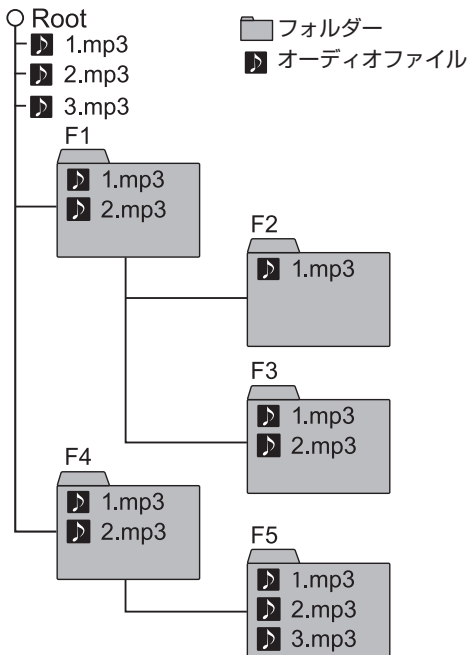
  - 再生時は、先に作成したフォルダーから順番に再生します。フォルダー内では、録音した曲順で再生します。
  - パソコンを使ってフォルダー名やファイル名（曲名）を変えた場合は、順番が変わることがあります。
- ファイル名、タグ表示は半角英数字に対応しています。それ以外の文字は「*」に置き換えて表示されます。
- 本機は、ID3 TAG VERSION 2（曲名、アーティスト名、アルバム名）、ファイル名、フォルダー名を表示できます。（ただし半角英数字のみ）
- CD、USB のファイル名/フォルダー名およびタグ表示（タイトル/アルバム/アーティスト名）の最大文字数は 16 文字です。

ファイルの再生順について

オーディオファイルは、接続機器の Root（ルート）にあるものから再生されます。

本機がフォルダーやオーディオファイルを再生する順番は以下のとおりです。

実際の再生順は、曲の記録された順番や使用するソフトウェアなどにより異なることがあります。

フォルダー構成例

ファイルの再生順

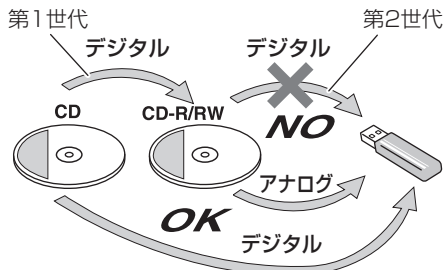
1 曲目　：1.mp3
2 曲目　：2.mp3
3 曲目　：3.mp3
4 曲目　：F1_1.mp3
5 曲目　：F1_2.mp3
6 曲目　：F2_1.mp3
7 曲目　：F3_1.mp3
8 曲目　：F3_2.mp3
9 曲目　：F4_1.mp3
10 曲目：F4_2.mp3
11 曲目：F5_1.mp3
12 曲目：F5_2.mp3
13 曲目：F5_3.mp3

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）

CD のクリアな音を他のデジタル機器（MD、メモリー、USB など）にデジタル録音した場合、1 度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりを SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）といいます。

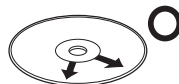
シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは 1 世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

- この規定により 1 度デジタル録音された CD からは、USB メモリーへデジタル録音することはできません。
- 本機では CD-R/RW からのアナログ録音はできません。

お手入れについて

CD の取り扱いとお手入れ

ケースから出すとき

- CD にテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください
- ハートや花などの形をしたシェイプ CD（特殊形状の CD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CD をお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

商標

- “Made for iPod,” “Made for iPhone,” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
  AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark “iPhone” is used with a license from Aiphone K.K.
- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、
  株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google Inc.の商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ
http://www2.jvckenwood.com/
から最新のFAQ（よくあるご質問）情報をご覧いただくことで解決できます。

カスタマーサポートセンターにご相談になる前にホームページや下記をチェックしてください。

ホームページの内容は予告なく変更になることがあります。

以下の処置をしても正しく動作しないときは本機をリセットしてください。

本機を操作できない、表示部が誤表示されるなどの場合には、次の手順で本機をリセットしてください。

リセットすると、各種の設定内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。

1 **音源を「AUX」に切り換える**

2 **本体の[|◀◀]ボタンを1回押す**

3 **[■]ボタンを押し続ける**

- 「Initialize」と表示され、自動的に電源が切れます。

共通

電源が入らない。

➡ 電源コードのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。

突然電源が切れてしまう。

➡ オートパワーセーブ（節電機能）が働いています。（p. 15）

➡ スピーカーの配線がショートしていないか確認してください。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

➡ 操作には時間制限があるものがあります。もう1度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

➡ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていませんか。

➡ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声が聞こえない。

➡ 音量が最小になっていませんか。

➡ ヘッドホンをはずしてください。

iPod/iPhone

iPodを再生できない/認識できない。

➡ USBケーブルを正しく接続してください。

➡ お使いのiPodが本機で再生できるか確認してください。（p. 41）

➡ iPodの電池が消耗していませんか。iPodの電池を充電してください。

➡ iPodをはずした状態で、iPodをリセットし、本機の電源コードを抜き差ししてください。（iPodのリセット方法については、アップル社のウェブサイトをご覧ください。）

USB機器/CD

再生できない。

➡ USB機器を正しく接続してください。

➡ CDはラベル面を上にして入れてください。

➡ CDまたはレンズが汚れていませんか。CDまたはレンズを清掃してください。

➡ 「パケットライト方式(UDFフォーマット)」で録音されたCDは再生できません。

➡ ソニー製ウォークマンは、USB接続できません。BLUETOOTH接続するか、本機のAUX入力端子に接続してください。（p. 31）

MP3/WMAのフォルダーやトラックが意図したように再生できない。

➡ 再生順は、フォルダーやトラックを録音した書き込みソフトによります。

USB機器やCDからの音声が途切れる。

➡ 汚れや傷のあるCDは、清掃するか交換してください。

➡ 正しく書き込まれたMP3/WMAファイルを再生してください。

➡ 本機の電源を切り、USB機器を接続し直してください。

USB機器に録音したファイルをCD-Rにコピーしたい。

➡ パソコンでの操作になりますので、お使いのパソコンのメーカーにご相談ください。

CDトレイが開かない

➡ トレイロックがオンになっています。設定を解除してください。（p. 23）

ラジオ

放送が聞こえない。

➡ アンテナを正しく接続してください。（p. 11、12）

雑音が多く放送が聞きづらい。

➡ アンテナを調節してください。

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

➡ 相手機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。

➡ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの A2DP に対応しているか確認してください。

➡ NFC でタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器（スマートフォンなど）側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

➡ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの AVRCP に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

➡ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。

録音

録音できない。

➡ USB メモリーの空き容量がありません。

➡ USB メモリーの書き込み禁止を解除してください。

タイマー

再生タイマーが作動しない。

➡ 電源が入っていませんか。再生タイマーを作動させるには、電源を切ってください。

録音タイマーが作動しない。

➡ 電源が入っていませんか。録音タイマーを作動させるには、電源を切ってください。

タイマー設定をしようとすると、再生時間表示が止まる。

➡ 時計が設定されていません。先に時計設定をして下さい。（p. 14）

その他

不自然な音になっている。

➡ スピーカーの極性（+、−）を間違えて配線すると、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。配線を確認してください。（p. 10）

主な仕様

本体（R-K505）

アンプ部

実用最大出力：	25 W + 25 W（JEITA* 4 Ω）
周波数特性：	20 Hz～20 kHz（JEITA*）
トーンコントロール部：	BASS : ± 8 dB（80 Hz） TREBLE : ± 8 dB（10 kHz）

CD プレーヤー部

読み取り方式：	非接触光学式読み取り（半導体レーザー）

チューナー部

受信周波数:	FM: 76.0 MHz - 95.0 MHz AM: 531 kHz - 1,602 kHz
アンテナ:	FM: 75 Ω 不平衡型 AM: ループアンテナ

入出力端子

USB：	出力：	DC 5 V ⎓ 1 A
	仕様：	USB2.0 フルスピード規格対応
	対応機器：	USB マスストレージクラスデバイス
	ファイルシステム：	FAT32
	入力感度/インピーダンス	1.4 V / 20 kΩ x 1
PHONES:	ステレオミニ（Ø 3.5 mm）16 Ω（推奨 32 Ω）x 1	

BLUETOOTH 部

規格:	BLUETOOTH Ver. 2.1 + EDR
送信出力:	Class 2
最大通信距離:	見通し距離約 10 m （使用環境によって異なります）
使用周波数帯域:	2.4 GHz 帯
対応 BLUETOOTH プロファイル:	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
対応コーデック：	SBC

共通部

電源:	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力:	26 W（動作時） 6.0 W 以下（BLUETOOTH スタンバイ時） 0.50 W 以下（電源待機時）
最大外形寸法:	幅 215 mm × 高さ 95 mm × 奥行き 287 mm
質量:	2.1 kg

スピーカー(LS-K505)

システム:	2WAY バスレフ型
スピーカーユニット:	ツィーター:25 mm ドーム型、ウーファー:110 mm コーン型
インピーダンス:	4 Ω
最大入力:	40 W
最大外形寸法:	幅 140 mm × 高さ 237 mm × 奥行き 236 mm
質量(1 本あたり):	3.4 kg

*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

1.保証について

- 保証期間－お買い上げの日より 1 年間です。
  電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「無料修理規定」をご覧ください。

2.修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

3.補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8 年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。この製品の故障･誤動作･不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ･ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音･再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5.アフターサービスについて

- 保証期間中は、「無料修理規定」に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

① 技術料 ： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
② 部品代 ： 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
③ 出張料 ： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
④ 送料 ： 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6.保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

① 保証書のご提示のない場合。
② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷(例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等)
⑧ 製造番号の改変及び、取り外した製品。
⑨ 消耗部品(例えば回転機器のベルト、乾電池、充電池、イヤーチップ等)の交換。
⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

■ 商品や修理（アフターサービス）に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950　　FAX 045-450-2308
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
　　　　　土曜　　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

保証書

持込修理用
（日本国内専用）

品名	コンパクトハイファイシステム	型名	K-505
保証対象	本体	保証期間	（お買い上げ日より）1 年間
※お買い上げ日	年　　月　　日		
※お客様	お名前　　様		
	ご住所		
	電話番号		
※販売店	店名		
	住所		
	電話番号　（　　）		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022　横浜市神奈川区守屋町3-12

0714KMYSANSHA